

平成12年度 和歌山県名匠

【紀州桐箆筥製作】

おか だ よし まさ
岡 田 義 正

【現住所】貴志川町(現:紀の川市)

【生 年】昭和8年

業績及び経歴

昭和8年広島県で生まれる。16才で道法木工所に入社し、家具製作全般の基礎技術を修得する。

37才で独立し、和歌山市で岡田木工所を設立する。以後、紀州桐箆筥の高度な伝統技法を守りつつ、独自の技法も考案し発展させてきた。

確かな技術によって生み出される氏の作品は、伝統工芸品としての品格を有しながら、随所に施された細工から氏のきめ細やかな心配りが感じられる。

また、伝統的な桐箆筥のスタイルに新しいデザインを巧みに取り入れるなど創作活動にも精力的に取り組んでいる。

昭和51年に京都府家具組合連合会優秀賞を受賞したのをはじめ、伝統工芸品展奨励賞など数々の賞を受賞、平成元年には、伝統工芸士の称号を受けた。

昭和60年からは、紀州桐箆筥協同組合副理事長を務め、後進の育成や業界の発展にも力をそそぎ、昭和62年に紀州箆筥が国から伝統工芸品の指定(「伝統的工芸品産業振興法」に基づく。)を受けるのに貢献した。

こうした功績が認められ、平成10年に通商産業大臣表彰(伝統的工芸品産業功労者)を受賞している。